

会 議 名	第2回港区生活保護受給者等メンタルケア支援事業業務委託候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年1月25日（火）午前10時から午前10時45分まで
開 催 場 所	リモート（teams）会議
委 員 員	（出席者）湯川保健福祉支援部長（委員長）、大原生活福祉調整課長（副委員長）、中村芝浦港南・区民課長、小笹障害者福祉課長、二宮健康推進課長 （欠席者）なし
事 務 局	生活福祉調整課自立支援担当黒川担当係長、藤倉担当
会 議 次 第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配 付 資 料	資料1 港区生活保護受給者等メンタルケア支援業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 港区生活保護受給者等メンタルケア支援事業業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 港区生活保護受給者等メンタルケア支援業務委託事業候補者選考委員会採点基準表（第二次審査）（案） 資料5 第1回港区生活保護受給者等メンタルケア支援業務委託事業候補者選考委員会会議録（案） 参考資料1 生活保護受給者等メンタルケア支援事業業務委託事業候補者募集要項 参考資料2 生活保護受給者等メンタルケア支援事業業務委託事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（案）
会議の結果及び主要な発言	
委員長 事務局 委員長	1 開会 2 第一次選考結果について 第一次選考結果について事務局から説明をお願いする。 （資料に基づき説明） 各委員から講評をお願いする。

A委員	令和3年度まで業務をしていた実績があるので分析はできている。専門性や関係機関との連携について、ケースワーカーとの連携も重視できており、評価できる。支援の理念などもよく理解しているが、具体的な記述がもう少しあるとよかった。
B委員	メンタルケアに関する専門性は高く、分析や記述は良いが、具体性が一歩あるとよかった。研修などでどのように職員を育成していくのかについて、記述が欲しい。関係機関との連携は具体的にどうしていくのか確認できない。
C委員	もう少し具体性があるとよい。分析については確かに的を射ているが、教科書的な記述で、その先の創意工夫はもう一歩であった。関係機関との連携については、ケースの共有は内部だけになっている。障害者地域活動支援センター、医療機関、保健師との広がりがもう少しあるとよい。
D委員	もう少し新たな提案があるとよかったが、配置される職員にメンタル支援員としてこれまでの経験があるので、安定性に期待できる。研修については、すでに専門性を持っていると思うが、深める取組がほしい。ケースワーカーとの連携をとって寄り添うような支援をやっていくということは伝わってきたので評価した。
E委員	記述としては論文的な提案であるが、これまでの業務実績があるので、実務面では安心できる。具体的な提案や専門性を向上させる取組ももう少しあるとよい。ケースワーカーとの連携だけでなく、関係機関に積極的に出向くなどの記述があるので、評価した。
C委員 事務局	応募事業者は現行の事業者か。 現行の事業者ではない。
C委員	人材育成の取組について3点に修正したい。
D委員	関係機関との連携について4点に修正したい。
E委員	同じく関係機関との連携について4点に修正したい。
委員長	他はよろしいか。 集計の結果、A事業者は、932点となった。 第一次審査及び第二次審査のそれぞれの満点の60%を基準点とすることを選考基準で定めている。一次審査の満点は1250点、その60%は750点のため、この基準を満たしている。これによりA事業者を一次審査通過事業者としたいと思うが、いかがか。 (全員了承) それでは、A事業者を二次審査へ進めるものとする。(結論)
	3 第二次選考について

第二次選考について事務局から説明をお願いします。

(資料に基づき説明)

質問・意見はあるか。

特にないようであれば、第二次選考の採点はこのとおりとする。

(結論)

ほかにあるか。

なければ第2回選考委員会を閉会する。

以上